

父島気象観測所について

数少ない太平洋上の 重要観測点

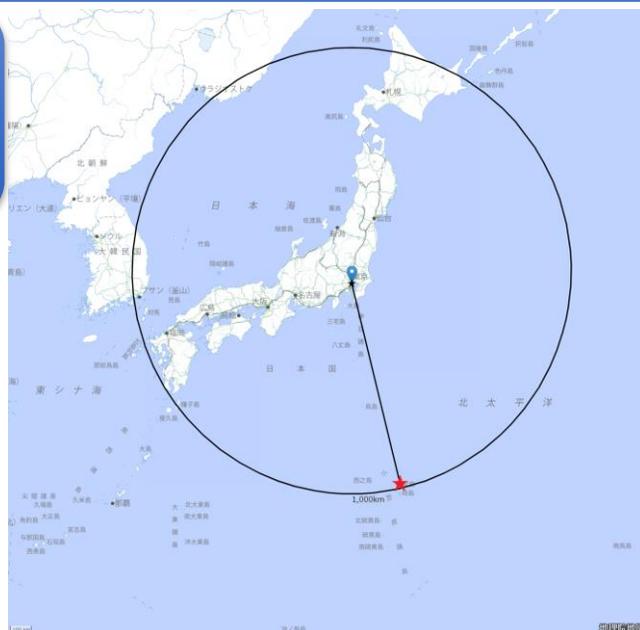
・【地上】

国内の地球温暖化の監視等に用いる41の気象官署等の1つに選定
=都市化の影響が少なく、観測環境が特に良好で、長期間のデータがある官署
(世界気象機関(WMO)準拠)

・【高層】

世界約180地点[※]（国内6地点）のGUAN観測点に選定
=GCOS(全球気候観測システム)の定める地球規模の気候変化を監視する高層気象観測網

※2018年現在



地理院地図に気象庁本庁を中心とする半径1000kmの同心円を加算
上図中の赤星が父島気象観測所の位置を表す

離島に暮らす村民

約2,600人[※]の安全のために

※令和4年現在

・【防災】

気象レーダー測定範囲外の離島で、
防災情報の遅滞ない発表に資する
各種観測（地上・高層・地震・津波・火山等）の**実施・保守**

日本の観測の最前線

・【台風】

本州に接近する前の台風を
地上・高層観測で直接観測
⇒数値予報モデルの計算精度及び予報の精度向上に貢献

・【遠地津波】

南半球等から襲来する津波の兆候をいちはやく掴む
⇒検潮所・震度計・早期検知網

離島生活の特殊性

- ・**週1便**のおがさわら丸に生活の大部分を依存
- ・東京から**約980km**を船で**24時間**

父島気象観測所で行う観測業務

地上観測



露場内の観測機器（温度・湿度計、雨量計、視程計）



台風の影響で露場に溜まった砂を撤去する職員



風向風速計



回転式日照計



全天日射計

高層観測



GPSゾンデの放球



台風接近時の暴風雨の中 GPSゾンデを放球する職員



GPSゾンデ



ラジオゾンデによる高層気象観測地点

地震・潮位観測



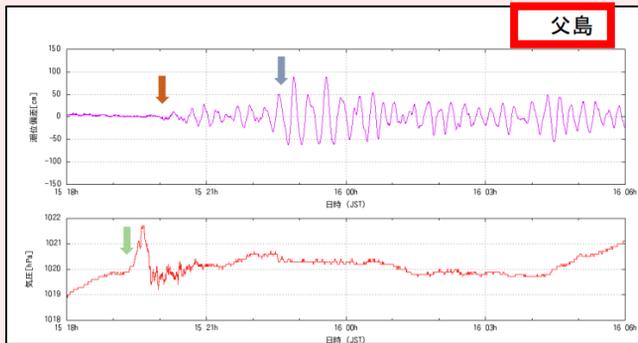
地震観測（震度計）



検潮所



GLOSS（全球海面水位観測システム）に登録されている検潮所



『フンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ火山の噴火により発生した潮位変化に関する報告書』（「津波予測技術に関する勉強会」令和4年4月）より抜粋

左図 上：潮位偏差、下：気圧
右図 トンガから日本への経路上にある潮位観測点で観測された潮位変化

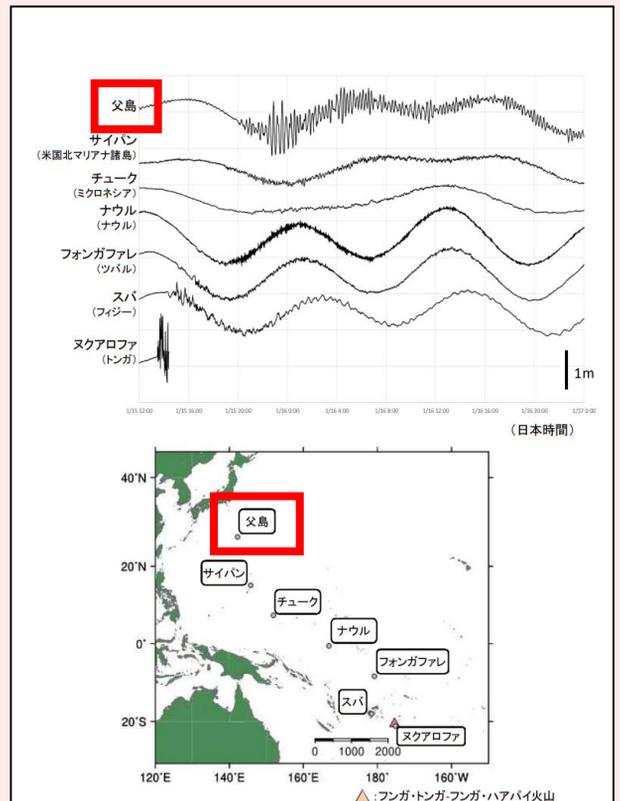


図5 トンガから日本への経路上にある潮位観測点で観測された潮位変化